

福祉わくや

2015.10
第115号

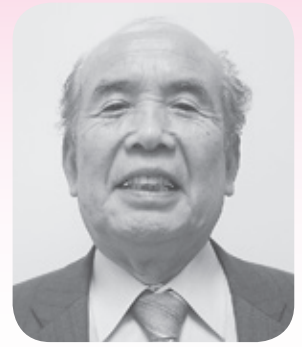


赤い羽根共同募金 街頭で募金呼びかけ 10月1日

赤い羽根共同募金運動の街頭募金が町内の商業施設2ヵ所で行われました。
今年も涌谷ブルースターズ、涌谷高等学校、涌谷町ボランティアの会の皆さんが、
買い物に訪れた皆さんに赤い羽根共同募金の啓発と協力について呼びかけをしました。

PICK UP!

- ・ 会長挨拶
- ・ 役員紹介
- ・ 平成27年度 福祉作文・ポスター・標語コンクール入選作品
- ・ おらほのふれあいレポ



ご挨拶

会長 小野寺 富雄

町民の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より、当社会福祉協議会の地域福祉の推進や介護保険事業には、格別のご支援とご協力を賜り、役職員一同心より、厚くお礼申し上げます。

この度、任期満了に伴う本会の役員改選において、理事及び評議員皆様のご推挙によりまして、引き続き会長職という重責を担わせていただくことになりました。二期目となりますが、今後とも皆様のご指導とご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、当町におきましても、少子高齢化の時代を迎えて地域を取り巻く環境は、大きく変貌しつつあります。ご承知のように、急速にひとり暮らしや夫婦のみの高齢世帯が増え、地域の中で支え合う機能も薄れがちになることが、予測されますので、今、その対応が求められているところです。

当社会福祉協議会では、基本理念に、「誰もがその人らしく、安心して暮らすことができる地域社会の実現」を掲げ、だれもが、住み慣れた家庭や地域で、人とのつながりを実感したり、地域との関わりを持ちながら、いつまでも暮らし続けたいという、町民の想いを社会福祉協議会は重く受け止め、障がいがあっても、高齢になっても、その人が大切に生きてきた人や地域との関係の中で暮らすことができるように、小地域福祉活動の推進に力を入れております。

今後も、地域住民が抱える生活課題解決のため、関係機関と連携して活動を展開してまいりますので、皆様方のお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

役員紹介

任期満了に伴い、6月26日の評議員会で役員（理事・監事）の選任が行われました。また、新理事の互選により、会長・副会長が選出されました。

役員の任期は、平成27年7月1日から平成29年6月30日までの2年間です。

理事

会長 小野寺 富雄

（敬称略）

副会長 高橋 俊吾

副会長 今野 武則

理事 安部 清彦

理事 佐々木 良一

理事 小野 秀一

理事 浅野 伸彦

理事 都築 光一

理事 高橋 ち子

理事 佐々木 とし江

理事 瀧澤 雅洋

理事 高橋 正幸

常務理事 大友 信一

監事

監事 渡部 清志

監事 砂金 均治

監事 遠藤 良治

【退任者】

このたび、退任された皆様におかれましては、長い間お疲れさまでした。

前理事 伊藤 雅一

（敬称略）

前理事 飯岡 洋介

平成27年度 福祉作文・ポスター・標語コンクール入選作品

(今年も町内小・中学校児童生徒のみなさんからたくさんの作品が寄せられました。)
(広報では入選した作品を紹介します。(敬称略))



月将館小学校 6年
すがわら ちあき
菅原 千暁

最優秀賞

ポスターの部



月将館小学校 5年
まつもと
松本 みずき

優良賞



小里小学校 3年
たかはし こうき
高橋 煌徠

優秀賞

優良賞

お年寄り
一緒にいる時間を
大切に。



涌谷第一小学校 5年
あべ けいた
安部 慶太

優秀賞

さし出そう
きみの手 ぼくの手
やさしい手



小里小学校 4年
かがわ たいき
香川 泰輝

最優秀賞

「ありがとう」
笑顔につこり
感謝の輪



涌谷第一小学校 5年
なんぶ あつし
南部 篤司

標語の部

最優秀賞

「バリアフリーについて考えよう」



浦谷中学校 3年
まつおか みう羽
松岡 美羽

日常生活の中でバリアフリーという考えは人を思いやることだと思います。

しかし、バリアフリーには良い点ばかりではなく悪い点もあります。

良い点は、障がい者への考え方が変わったこととお年寄りや妊婦さんへの負担を考えた取り組みがあり、多くの人が配慮のある行動を求められるようになったことです。

障がい者への考え方が変わったということは点字ブロックや点字といった方法が目が見えなくても普通に生活できる方法を考え出せたことにもあらわれています。

そして今ではお年寄りや妊婦さん考えた駐車場や優先席といった取り組みがありとても思いやりがある日本の社会ができあがっています。

しかし反面、そのバリアフリーが様々な問題を引き起こしてしまいます。

バリアフリーと知りながらそれを無視する若者が多いことです。

例えば、電車にある優先席。その優先席はお年寄りや妊婦さんのためにあるのに若い人たちがすわってしまった優先席の意味がなくなってしまうという報道を見聞きすることが少なくありません。そのようなことがないように、人々の考えをもっともつと変える教育が必要だと思います。

また、障がい者や妊婦さん、車いすの人のための駐車場に何にも支障のない人たちが駐車していることも同じ現象です。人にはさまざまな事情があります。それでも、やはりバリアフリーは、ハッキリと障がい者のためのものだと、私たちは考えなければなりません。このような良い点や悪い点をふり返ってみると、自分だけよければよいという考えだけではないと思います。優先されるべき人は誰かということに常に考える必要があります。

私は、電車で遊びに行くときはあまり席にすわらずに立つようにしています。

そうしたある時お年寄りの方に「えらいね。ありがとう。」といわれたことがあります。お礼を言われる行為だとは思わなかった。なのでその時は、とても嬉しかったです。

たです。

ささやかな思いやりが障がいのある人にとつてとても良いことだと実感しました。また自分の常日頃の行いが思いがけず他人のためになり自分も気持ちの良い時がすごせたことが嬉しかったです。

思いやり。それは、人が人へとする配慮。

そして、気持ちなんだと思います。私は、そのような問題点をふまえ、優先席や障がい者の駐車場へのつかいかたについて知ってもらえるようにできるだけ声をかけていきたいと思っています。

優秀賞

「人を思う心を」



浦谷中学校 1年
やまうち たくみ
山内 拓実

について、とても興味を持ちました。

自分の身の回りのことが、自分でできなくなると、誰かにお世話してもらわなければなりません。家族や親せきがいなければ、他人の方や施設の人達にお世話してもらわなくては行けません。おじいさんやおばあさんが邪魔物扱いされたり、障害者の人達に優しくできない人達がいることを聞いた事があります。どうしてそのようなことがあるのか？どうしてそのようなことがおこるのか？

僕は色々考えて見ました。僕の回りには、沢山の友達や大人の人達がいます。色々な性格の人がいます。もしかすると、おじいさんやおばあさんが近くにいないくてどのように接すればいいのかわからない人もいるかもしれません。そういう時は、悩まないでみんなに聞いてみればいいと思うし、大人の人達が気づいて教えてくれればいいと思います。そういうことから見直していけばいいと思います。そして、色々な人達が、不自由なく安心して暮らしていけるようにしていくことがみんなにとって、一番大切なことなんだと僕は思います。お年寄りや障害者の人達に、親切にしてみれば、接し方がわかる僕は思いました。

お年寄りのおじいさんやおばあさんが自分一人で生活ができなくなったら、誰かに相談して、一人

で悩まないでほしいと思うし、回りの人達も、ちよつとでもいいから、一人暮らしのお年寄りの方が近くにいていうことを気に止めしてほしいと思いました。お年寄りや障害者の人達のことを思うこと、それが人を思うことの第一の大切さだと僕は思います。

もしかすると、お年寄りのことを見て、こんなこともできないのかとか、早くしてくれとか思う人も中にはいるかもしれません。自分が忙しくていたら、私もそう思うことがあるかもしれない。ですが、僕や友達や大人の人がお年寄りになって、そんなふうな若い人に思われたらいやだと思えます。だからこそ、お年寄りや障害者の人達に親切にしていけることで僕は、そのようなことがなくなると思えました。

福祉とは、沢山の人が何不自由なく、暮らしていけるようにすることだと思えます。

それは、なにがあるうと変わらないことです。だからこそ、自分のために、お年寄りや障害者の人達や友達や大人の人たちをみな、平等にしていける未来を作りたいと思っています。福祉というものをこれから大切なもの、人のことを考えるためのものとしてちゃんと大切にしていかなければと思います。やはり、福祉とは色々な人達にとってとても大切で、なくてはならない物なのです。

優良賞

「わたしの おじいちゃん」



小里小学校 6年
ちば あいこ
千葉 藍子

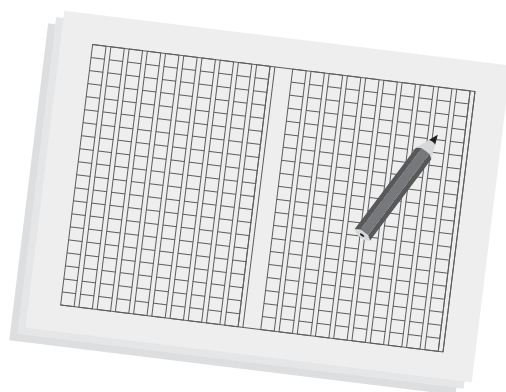
わたしのおじいちゃんは車いすを使っています。今年の3月にハウスの前で転んで首の所にあるけいといと言う部分をいためてしまいました。それから、今までのように、歩くことができなくなりました。今は、おばあちゃんや、ヘルパーさんたちがおじいちゃんのお世話をしています。

五月の田植えの時、家にはおじいちゃんとおじいちゃんの二人だけでした。おじいちゃんが外に出るといっていました。わたしは、いつもおばあちゃんやお母さんが「おじいちゃん、一人では転ぶとけがをするから歩いてはダメだよ。」と言っていたのを聞いていたので、わたしも「おじいちゃん、歩かないほうがいいよ。」と言いました。でもおじいちゃんは、自分で車いすを動かしてげんかんにいこうとします。わたしは、車いすを外に出る時に、スロープを使うことを知っていたので、重かったけど出

してあげました。でもおじいちゃんには、スロープを使わないで、車いすからおりて、一人で歩いて外に出ました。最初は、何歩か歩きましたが、やっぱり転んでしまいました。上手に手を使うことができなかつたので、頭から転んでしまいました。わたしは、びっくりして、「だれか来て！」と言いました。ちょうどその時、近所の人々が来たので、おばあちゃんやお父さんをお母さんでもらいました。すぐに病院に行っておじいちゃんには頭の傷を何針かぬいました。それからしばらくして、けがは治りましたが、前よりももっと歩けなくなっていました。

わたしは学校の授業で車いすの体験をしました。その時には実際に、自分も乗ってみました。動かすことはできましたが、大変だなあと思いました。授業では車いすをおしたり、車いすに乗るのを手伝ったりはしませんでした。おじいちゃんが車いすを使うようになって思ったのは、車いすを使う人の話や車いすに乗る人をお世話する人の話をもっと聞いた方がいいということでした。わたしは、おじいちゃんが外に出たいと言った時、スロープを用意しましたが結局、おじいちゃんがけがをしてしまったので、あの時はおばあちゃんやお母さんをおばあちゃんと呼べばよかったです。これからは、もっとおばあちゃんやお母さんとおじいちゃんをお

世話するのをよく見て、それから話もちゃんと聞いていつかおじいちゃんになりたいことの手伝いができるとなりたいです。



福祉教育 出前講座

小里小学校福祉学習

平成27年度も引き続き、3年生から6年生まで各学年に応じた福祉学習を実施！



←4年生 6月3日

「手話を使って会話をしよう」聴覚障がいについて

感想「耳が不自由でも日常的な生活ができると思った」

6年生 6月11日→

「私達のできることをみつけよう」施設見学&デイサービスで交流

感想「利用者と交流し楽しかった。いろいろ教えてもらった。」
「獅子舞を披露できて良かった。昔の遊びができて良かった。」



↓5年生 6月15日

「老化についての学び」高齢者疑似体験



感想「ぴいじいちゃんと
ぴいばあちゃんは
すごいと思った。」

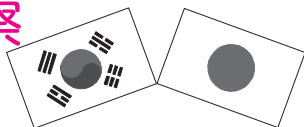


←4年生 7月8日

「車イスの働きを
調べよう」
車イスの仕組み&体験

感想「車イスでの移動は大変。誰かに手伝ってもらえると嬉しい気持ちになった」

韓国社会福祉協議会 会長が視察 9月17日(木)



韓国社会福祉協議会車興奉^{チャ・フン・ボン}会長や韓国の大学教授、義城郡職員等5人が、町民医療福祉センターと社協（ゆうらいふ）を訪れ、日本の医療と福祉、介護の状況、改善に向けた取組みを視察しました。

ゆうらいふでは、小野寺会長から地域福祉の実践報告として、福祉リーダーの養成や地域での見守り活動などを紹介し、車^{チャ}会長からは、涌谷町をモデルとした「義城健康福祉センター」の理念や概要が示され、社会福祉協議会が地域に根ざすための今後の課題などについて情報交換をしました。



福祉教育 研修会 8月11日(火)



町内の幼稚園、小学校、中学校の先生方を対象に13名の参加のもと、福祉教育研修会を開催しました。講師には、宮城県北部保健福祉事務所手話通訳員の山田美喜枝氏と、夫であり聴覚に障害のある山田法生氏をお迎えし、実体験を交えて講話をいただきました。

参加された方々からは、「聴覚障がい者は見た目では全く分からないが、耳が聞こえなくてもちょっとした工夫や手助けで普段の生活ができることがわかった」「手話がコミュニケーションの1つとして、重要だと感じた」「子供たちにどう伝えようかな？」との話がありました。





「運動の三要素を学ぼう!! ～楽しい実技～」

6月まで講義中心の講座を行ってきましたが、7月からは、宮城県成人病予防協会健康運動指導士の北目衛子氏をお迎えし、実技を学んでいます。



介護予防『パワーアップ』リーダー養成講座



「学んだことは、地域の中で、即実践!!」

実践を学ぶため、本講座修了生も活動してる各地区の運動広場（2の3区（新丁頭、北田）、3区、八雲区、上小塚区、黄金区、上町区）の見学を行いました。

各地区とも思考を凝らした運動やその後のお茶っこのみ会を楽しんでいました。参加者からは、「続けることで運動普及につながる」との声があがっていました。

見学させていただいた地区のみなさん、ありがとうございました!

平成27年度 会費の御礼と実績

本年度も涌谷町社会福祉協議会の趣旨にご賛同いただき、ありがとうございます。

涌谷町の豊かな地域づくりのため、皆様から年会費を頂戴いたしました。

会員皆様のご支援とご協力に、心から御礼と感謝を申し上げます。

また、各地区の地域福祉会長・福祉推進員の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

一般会費	5,309,200円 (4,585件) ※減額、免除世帯も含まれます。
賛助会費	297,000円 (99件)
特別会費	485,000円 (58件97口)
総 額	6,091,200円

(平成27年10月5日現在)

地域ふれあい物品貸出しします!

社協では、地域で行う福祉活動に対して、イベント物品やレクリエーション物品の貸し出しを行っています。

ぜひ、ご活用ください。

イベント物品	はっぱ、紅白幕、行事用テント、発電機 など
レ ク リ エ ー シ ョ ン 物 品	輪投げ、スカットボール、お手玉、スモールジムボール など
そ の 他 物 品	車いす など

※上記以外にも様々な物品がありますので、お気軽にお問い合わせください。



問合先 ☎ 43-6661 (担当：地域福祉課)

おらほのふれあいレポ

八雲区



「お茶っこ飲み会 in 七夕祭り」 7月4日(土)

竹への短冊飾り付けや社協職員による熱中症注意・認知症予防の講話、さらに、じゃんけんレクリエーションも行われ、大変盛り上がりました。八雲区に新たに建設された災害復興公営住宅の方々にも参加いただき、お互いの親睦を図ることができました。

「おしゃべりタイム」が大変盛り上がり、みんなで会話することが楽しいようでした。

「お茶っこ飲み会」

7月5日(日)

七夕を2日後に控えていたので、七夕飾りや短冊を作り飾り付けをしました。

頭と指先を使いながら真剣に取り組み、完成すると「あらいいねー」「きれいだねー」と喜んでいました。

会食では、近況報告をする方々が多く、お互いを案ずる様子が見られました。

上谷地区



太田区



「健康教室(生活習慣病予防教室)」 7月5日(日)

健康についての講話を行いました。「塩分の取りすぎに注意」ということはわかっていますが、なかなか家族の協力と理解を得るのが難しいという方が多いようです。また、「教養(きょうよう:今日用事がある)」「教育(きょういく:今日行くところがある)」について、「とても大事だね」という声が聞かれました。

講話後はストレッチ体操で汗を流し委員で作った減塩レシピ料理を食べながら、久しぶりに会った人たちとの会話を楽しんでいました。

「七夕まつり」

7月5日(日)

毎年恒例の行事で、昨年より出席人数は多い中での開催でした。

認知症予防の体操を行い、「スーパーじいちゃん」「スーパーばあちゃん」の元気良い笑い声が多く、とてもよい雰囲気でした。また、昼食には健康推進員の作った減塩スープが提供されました。



5の1区

籠岳区



「お茶っこ飲み会」

7月17日(金)

多くの方に参加いただいた中での開催で大変盛り上がりしました。

熱中症予防の講話は大変ためになり、その後の間違い探しや色当て歌なども盛り上がりしました。

「次も期待しているよ」「また誘ってください」といわれお茶っこ飲み会を通し、あまり普段会えない人ともたくさんお話ができ、行政区のつながりや絆づくりができ本当によかったです。

「世代間交流夏祭り」

7月26日(日)

非常に暑い日でしたが、大勢の参加者で賑いました。

今年は、「ラムネの早飲み競争」「しっぽ切り」のゲームを実施し、大いに盛り上がりしました。子どもから大人まで混じり、子ども相手にむきになっていました。カラオケでは子どもが歌えば、お母さんたちが踊り出し、一緒に楽しみました。

子どもたちが「ゲームが楽しかった。もっとやりたい」と言ってくれ、とてもよかったです。

上小塚区



5の2区



「お茶っこ飲み会 in 七夕祭り」

8月9日(日)

暑さ対策のため、夕方4時から開催しました。朝からの雨もやみ、屋外で「スイカ割り」や「スーパーボールすくい」を行うことができました。

その後、各々が好きな食材を使い、親子サンドイッチやホットサンドを作り食べ、高学年の子の食欲に驚かされました。

花火やお菓子、くじ引きの景品を手に、「楽しかった」と口々に言いながら、「今度もぜひ参加します」という声が聞かれました。

「下町区ふれあいサロン」

9月1日(火)

社協職員からの健康についての講話では、「睡眠の役割、不眠と生活習慣病、不眠の要因、良い睡眠をとる工夫」等を学びました。また、歌や運動もあり、とても有意義でした。推進員の一致団結と協力があり、開催することができました。

みなさん、帰りの玄関で口々に「本当に楽しかった」と言ってくださり、うれしかったです。

下町区



～わたしたちは、あなた「**ゆう：You**（利用者：家族：地域住民）」と共に、
あなたの生活「**らいふ：Life**（人生：生命：生涯）」を大切にします～



通 信

ゆうらいふ夏祭り2015 8月1日(土)



今年も恒例のゆうらいふ夏祭りを開催しました。
当日は天候にも恵まれ、
たくさんの方々に参加いただき、たいへん盛り上がりました。利用者の皆さんも夏祭りの雰囲気を楽しんでいました。



松島外出

特別養護老人ホーム

7月7日、14日に松島町のおさかな市場などに外出しました。両日もとも天気に恵まれ入居者に海の匂いを感じて頂きました。



運動会

かごめめがけて、「エイッ！」



夏祭り

出店に並び、品定め！
「どれがいいかな？」



七夕

短冊に願いをひめて...

ゆうらいふ デイサービス

毎月季節に合わせた行事を、利用者に楽しんでいただけるように行っております。

9月11日 台風18号等による大雨の対応について

ゆうらいふの下町地区は、江合川の増水から避難勧告・避難指示が出されました。当日は、安全を第一にデイサービス等の営業は中止し、施設入居者は医療福祉センターに避難しました。
サービス中止等によりご迷惑をおかけしました。皆様のご理解、ご協力ありがとうございました。

介護職員初任者研修講座

7月22日から9月30日まで、宮城県指定介護職員初任者研修講座を開講しました。受講生7名が資格を取得しました。

「初任者研修を受講して」

受講生 H・N

「右も左もわからない世界」。これは、初任者研修に申し込んだ時点での私と介護との関係でした。

そんな私が今回知人の勧めもあり資格を取得して、いつか誰かのために少しでも役立つことができたかと思いを決めました。

研修には、年齢も立場も違う受講生7名が集まり、緊張感ありつつも時折みんな笑いあえる良い時間を共有できたと思います。

そして、私たちはこの研修中でたくさんの方を学びましたが、特に心に残ったのが「相手の立場になって考える」というものでした。自分の気持ち次第で、相手を笑顔にも不安にもさせてしまうという、介護する側の心構えの重要さを知りました。また、私が最初に考えていた介護のイメージより多くの職種の人たちが関わり、支えられていることも驚きでした。

今回の講習を助めてくれた知人に感謝し、今後、知識や技術をより高めていきたいと思っています。



涌谷町地域活動 支援センター



編み物、縫物。すべて、一から手作業です！



涌谷町地域活動支援センターは、障がいをお持ちの方が創作的活動や生産活動および、社会交流、様々な体験活動とおし自立した日常生活や社会生活が出来るよう総合的な支援を行っています。

涌谷町地域活動支援センター(ゆうらいふ内)

・開設日 月曜から金曜(祝祭日除く) ・問合先 ☎43-6662(担当:森)



育てた野菜は、おいしい料理に仕上げてます！



赤い羽根共同募金運動展開中

(期間10月1日~12月31日)



今年度も10月1日から赤い羽根共同募金運動(スローガン「ほんの小さなやさしさで広がる大きな支援の輪」)が全国的に展開されておりますので、多くの皆様のご協力をお願い申し上げます。

宮城県台風18号等災害義援金 募集受付について

台風18号等による大雨で、家屋の浸水や倒壊等の災害が発生しました。

宮城県共同募金会では、被災者支援一助のため、義援金の募集受付を行っています。

- 1 義援金名称
宮城県台風18号等災害義援金
- 2 募集期間
平成27年11月27日(金)まで
- 3 受付方法
 - ①口座振込による受付：

七十七銀行 県庁支店 普通0100897
名義 社会福祉法人宮城県共同募金会
会長 樋口稔夫(ヒグチトオ)

※当該金融機関の本店・支店からの振込手数料は、無料となります。

※ATM及びインターネットバンキングを利用したの振込みは、手数料がかかります。
 - ②窓口(現金)による受付：

涌谷町共同募金委員会で受付します。

※受付場所は、ゆうらいふ(社協事務局)になります。
- 4 問合先
☎43-6661(担当:山根、草刈)

『高齢期の食生活と健康長寿』を考えるフォーラム

「低栄養予防」「介護予防運動機能向上」「福祉コミュニティ」という3つのキーワードを掲げ、食と健康のフォーラムを通して、食に対する関心を高め、食の観点から生活習慣を見直し、望ましい食習慣について理解を深める目的で開催します。

日時 平成27年10月23日(金) 9:30~12:00

場所 涌谷町高齢者福祉複合施設ゆうらいふ 多目的ホール

内容 ・表彰式

・基調講演「食生活と健康長寿」(仮題) 宮城県大崎保健所

所長 大内みやこ氏

・シンポジウム「高齢期の食生活と健康長寿」を考える

コーディネーター

東北福祉大学 総合福祉学部 福祉行政学科 教授 都築 光一氏

シンポジスト

涌谷町健康課健康づくり班 主査(管理栄養士) 小野江里子氏

シンポジスト

宮城県成人病予防協会 健康運動指導士 北目 衛子氏

シンポジスト

涌谷町下小塚区 地域福祉会長 大平あつ子氏

問合先 ☎43-6661 (担当: 地域福祉課)

参加
無料

心温まる善意♥ありがとうございました

(平成27年6月4日

~平成27年10月5日まで)

●ジャパンゴルフツアー
選手会 様
車両(スズキアルト)



●特定非営利活動法人
大崎タイムス福祉部 様

30,000円

●日本民謡香湧会 様

30,000円

●株式会社みどりのサービス 様 介護用品(吸引器等)

●4区自治会 様

タオル、雑巾

●涌谷地域米作づくり委員会
委員長 佐々木 長市 様

新米(15kg)

●脇 区 伊藤 勝秋 様

新米(60kg)

お詫びと訂正

前号(114号)5頁で福祉推進員の紹介を掲載した際に
お名前に誤りがありました。

下記のとおり訂正し、お詫
び申し上げます。

◆福祉推進員(敬称略)

【1 区】中村 守男

【4 区】渡部 敦子

【6 区】荒 榮吾

【黄金区】安部川孝子

【小里区】浅野 祐一

【太田区】中澤 文江

生活相談所

日常生活で心配事、困りごとがありませんか?
お気軽にご相談ください。

秘密厳守!

「生活が苦しい」「介護に疲れた」
「認知症ってどうすればいいの」
「子育てが不安」「誰にも相談できない」

開設月日: 10月28日(水)、11月25日(水)、12月16日(水)

相談時間: 午後1時~午後3時

相談場所: ゆうらいふ相談室

※相談日以外にも、ご相談をお受けします。☎43-6661(担当: 総務企画課)

編集後記

社協だより「福祉わくや」は、涌谷町の社会福祉活動をお伝えするため、年4回の発行を行っています。前号より表紙の写真がカラー化されました。カラー化に負けずに読みやすい記事、わかりやすい編集に心がけたいと思います。

福祉には幸せと豊かさの意味があるそうです。弱肉強食の競争社会と共存するには今号の福祉作文にあるように思いやりの心が大切だと思いますが、障がい者向け駐車スペースの利用の仕方から見ても簡単なことではありません。でも、作文の入選者のような若い世代の方々が、福祉に関心を寄せるのは将来の光です。

広報委員

ボランティアグループ
「あけぼの会」

朗読テープの貸し出し

町広報・社協だよりの朗読テープを無料で貸し出しています。視覚障害者の方、介護者の方など、お気軽にご利用ください。
ボランティアグループ「あけぼの会」

☎43-6661(担当: 地域福祉課)